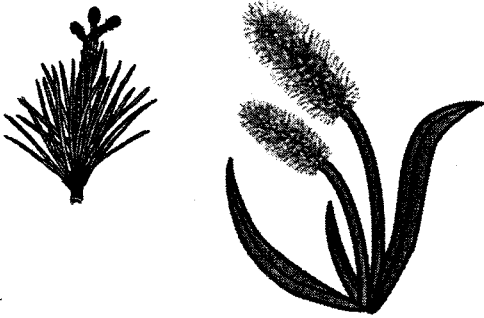


草花であそぼう



あそぼう

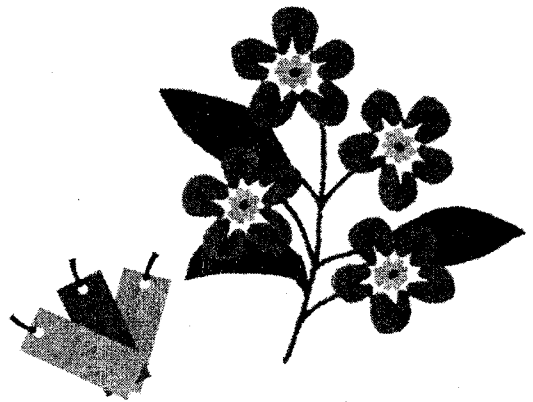
～葉っぱを使って、ゲームを楽しもう～

- ★音あそび
- ★エノコログサレース
- ★マツバずもう など

かざろう

～葉っぱを使って、作品をつくろう～

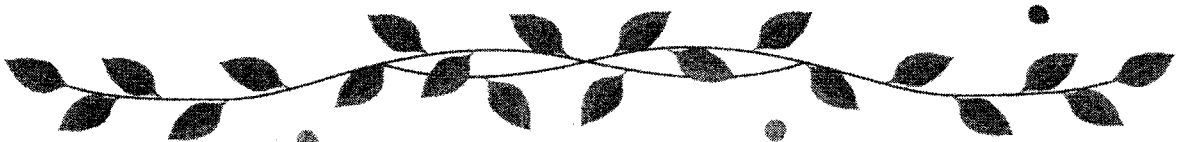
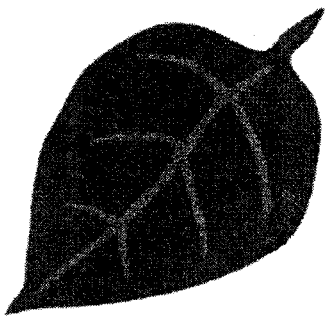
- ★こすり出し・版画
- ★生き物や昆虫をつくる
- ★押し花



へんしんしょう

～葉っぱを身に付けて、おしゃれを楽しもう～

- ★ネックレス
- ★ぼうし
- ★めがね など



華やかさはないけど…でも良くとん遣へるエノコロ草の世界

エノコロ草とは・・・ねこじゃらしの事です。この時期、歩道や歩道と路肩の間にも見られる「ねこじゃらし」。このページでは、どこにでも生えているねこじゃらしを使った遊びをいくつか紹介します。「しょうもない」と思われてしまうかもしれない、ささやかな遊びではありますがバラエティに富んだ遊びの数々をご堪能ください。

☆知っていると思わず自慢したくなる遊び

1. エノコロ草は生きている。

- ①えのころ草の穂先を片手で軽く握ります。
- ②握ったりゆるめたりすると…えのころ草は毛虫（のような動き）になります。
※軽く握ったときに穂先を少し出しておいてあげると、成功しやすいです。

2. マイクに変身。

- ①えのころ草を抜いてきます。莖のしっかりしているものがおすすめです。
- ②穂先をぐるっと巻いて軽く結びます。
- ③後はマイクに見立てて、カラオケ大会やインタビュー大会を開きましょう。
※穂先に近い所を折ると・・・ちょうちんにも見えてきませんか？



☆友だちと遊ぶ

1. エノコロレース


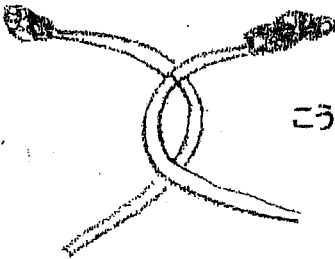
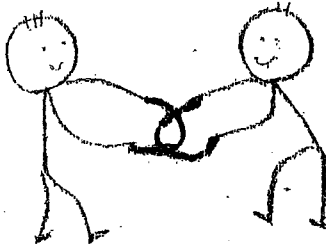
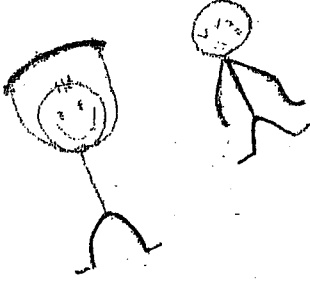
- ①えのころ草の先の穂の部分をもしり取ります。（一人一つ用意）
- ②もじゃもじゃの毛が斜めに生えているので、穂の下半分のあたりをなでるように上から押してあげると進みます。
- ③誰が一番にゴールするか競争の始まりです♪押す回数を決めたり、大きさによっての進み具合を比べたり工夫して遊ぶ子どもの姿に期待です。
※ころころと回ってしまう時には、半分に割いてあげると進みやすいです。

2. エノコロ馬の競走




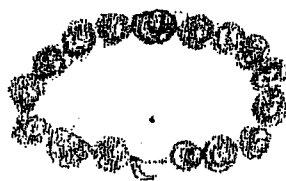

- ①えのころ草を二本用意します。
- ②片方の穂先を、莖を少し残してちぎります。こちらが馬になります。
莖の部分をZになるように折りましょう。これが馬の頭です。穂はおしりになります。
- ③もう一方のえのころ草は、穂先を少し残してちぎります。こちらは鞭になります。
- ④おしりを③の莖の先端でつつくと、不思議な動きの始まり。これも競走になると面白いですね。

はるのくさばなであそぼう

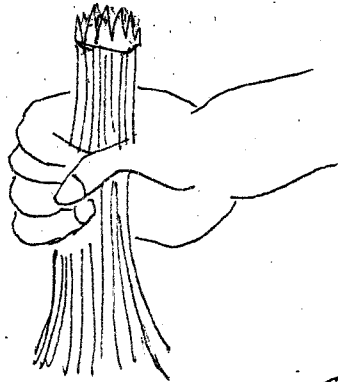
オオバコのくさずもう!

<p>1</p> <p>つよそうなのをえらんで くきを めこう。</p> 	<p>2</p> <p>こうやってくもう</p> 
<p>3</p> <p>ともだちと ひっぱりあいた。 まけないよ。</p> 	<p>4</p> <p>さきに きれたら まけだよ。</p> 

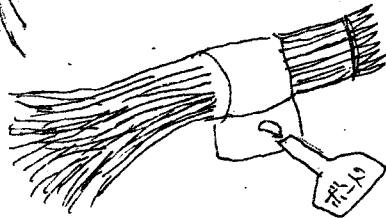
シロツメクサの花わを作ろう!

<p>1</p> <p>な/ かを た/ しよう。</p> 	<p>2</p> <p>べつの 1本(ぼん)で しばろう。</p> 	<p>3</p> <p>すこし ずらして また しばろう。</p> 
<p>4</p> <p>つづけて しばろう。 すきな ながさになったら、 はじを むすぼう。</p> 		<p>5</p> <p>できあがり!</p> 

マツバのすもう

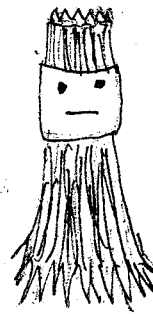


①マツバを軽く握り、
とんとんと先を揃える。

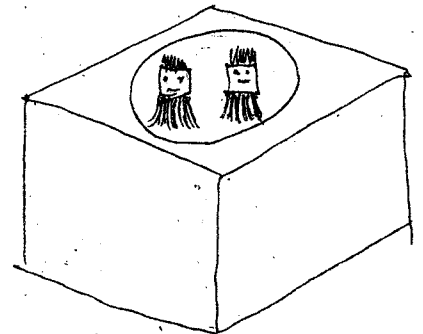


②上の方を、色紙で巻き、接着剤で止める。

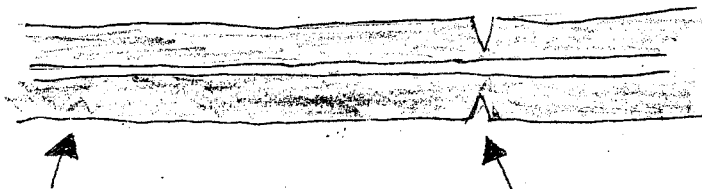
③目や鼻を書く。



④段ボール箱の上に乗せ、
ふちをとんとんと叩いて、
たたかわせる。

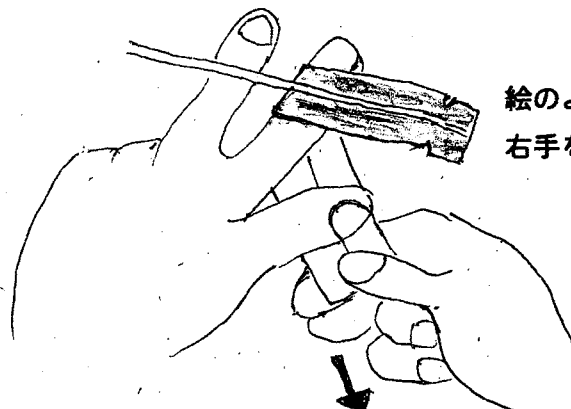
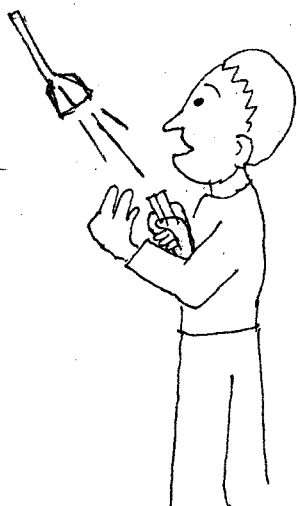


ススキのやとばし



芯に沿って両側を途中まで裂く。

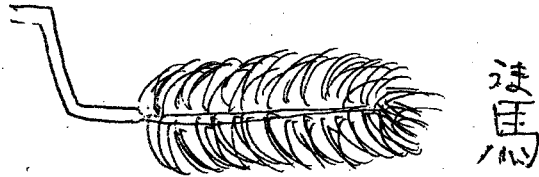
芯を残して切込みを入れる。



絵のように挟んで、
右手を素早く引く。

チカラシバのけいば

- ①くきを首のように曲げて、馬を作る。

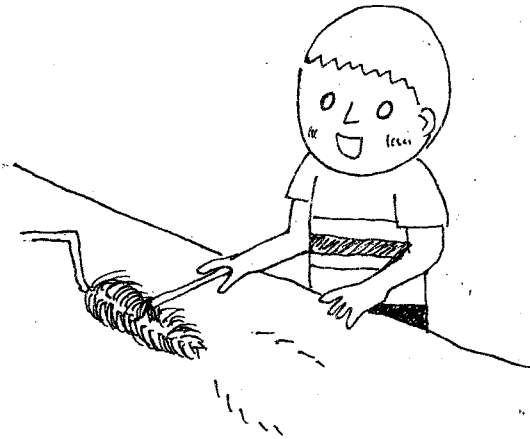


- ②穂の根元を、少し残して、鞭を作る。



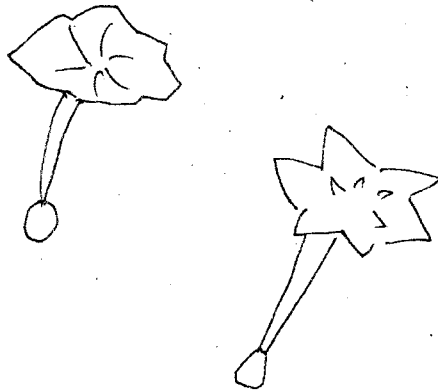
- ③平らな所に置いて、穂の先の方に向けて、鞭でこすると、馬が進む。

(ゴールを決めて、競争しよう。)



オシロイバナのパラシュート

- ①根元の緑の部分から花を一つ採ります。

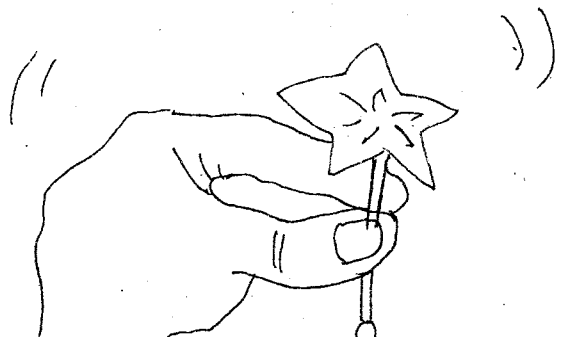


- ②根元の緑の部分を開くと丸い部分が見えます。

- ③この丸い部分を指でポキッと折り、下に引っ張ると、ひも（めしべ）が出てきます。



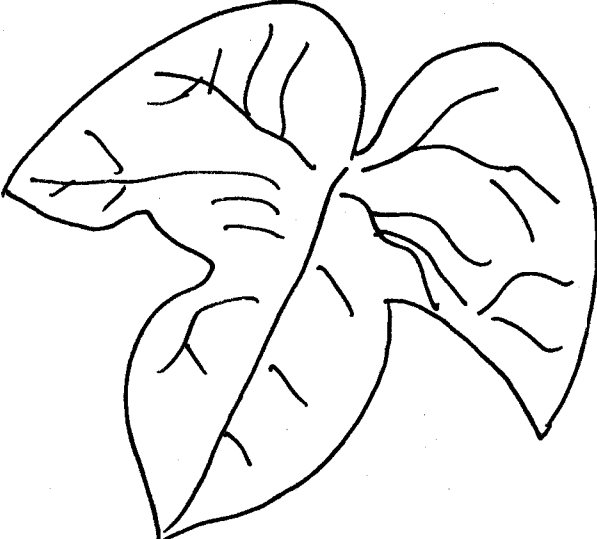
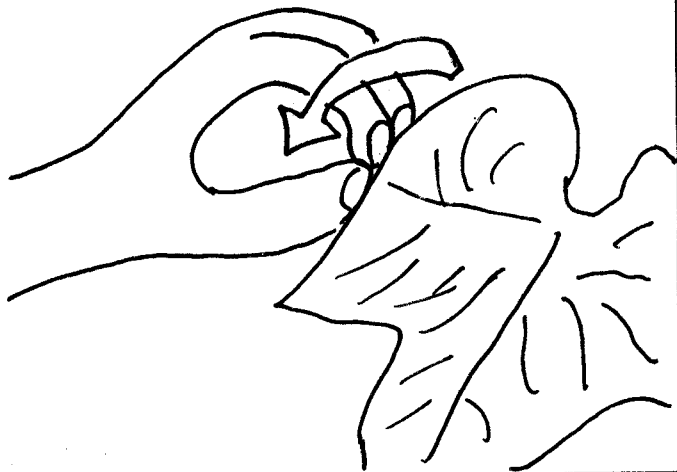
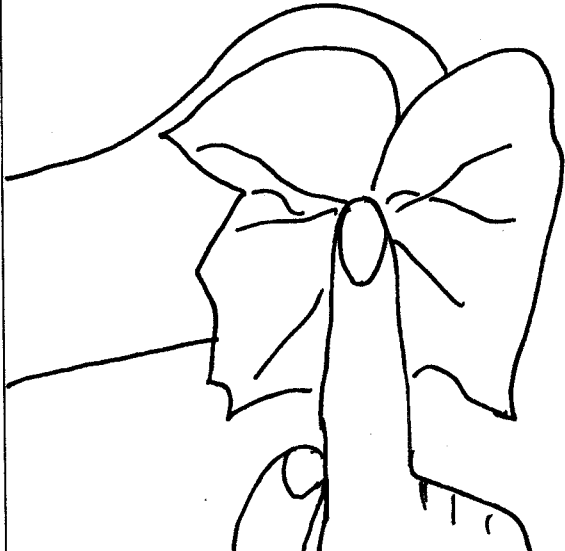

- ④これで落下傘（パラシュート）の出来上がり。



～音を出して楽しもう～

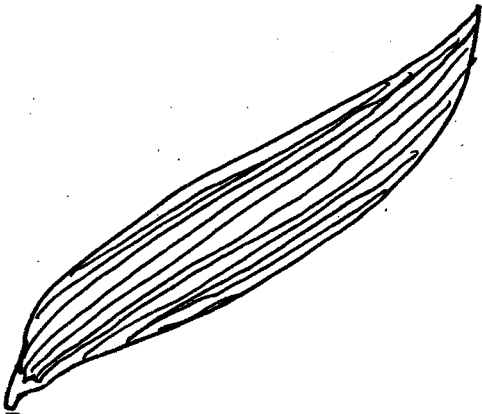
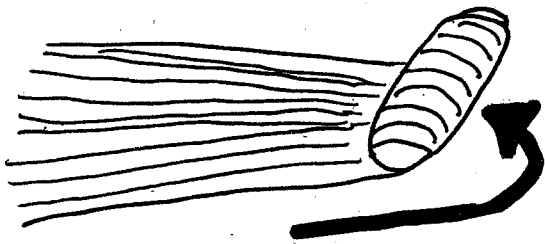
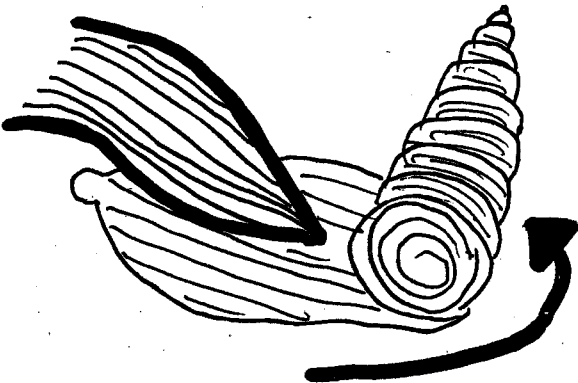
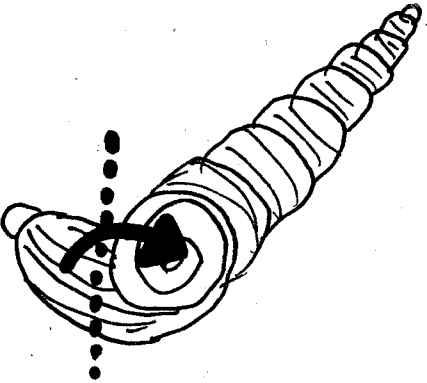
★アサガオの葉っぱで鉄砲！！

【用意するもの】アサガオの葉っぱ

1	2
<p>アサガオの葉っぱを一つ採ります。</p> 	<p>片方の手で輪っかの形を作って、葉っぱを乗せます。</p> 
3	4
<p>葉っぱを人差し指で少し押して、破らないようにへこませます。</p> 	<p>へこんだ所を手のひらで勢いよく叩くと、「パン！」と大きな音が鳴ります。</p> 

★アシのほうぼうぶえ

【用意するもの】. 若い葉を使いましょう。

1	2
<p>吹くところにする葉は、若い葉を使います。</p> 	<p>葉の先のほうから、少しななめにまいていきます。</p> 
3	4
<p>大きくするときは、別の葉を中に重ねて巻きます。</p> 	<p>巻き終わりは少し残して、内側におりこみます。吹くところを歯でつぶしてから吹きます。</p> 

～ おし花 と おし葉 ～

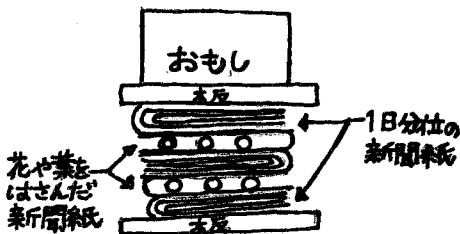
★きれいな花や葉を使っておし花やおし葉を使ってしおりやはがきをつくろう。

☆用意するもの

きれいな花や葉 新聞紙 おもしになる物（厚い本やブロックなど） 板
台紙にする紙 のり（木工用の接着剤を水で薄めて使うとよい） 布テープ

☆おし花・おし葉作りの一例

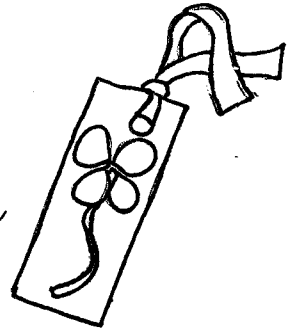
- ①形を整えて新聞紙の間にはさむ。
- ②下の図のように重ねる。



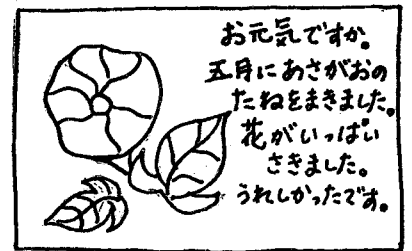
- ③はじめは1日おきくらいに、花や葉をはさんだ新聞紙を取り替える。（3～4回）

☆しおりやはがき作りの一例

- ①できたおし花やおし葉のうらののりをつける。
- ②形よく台紙に貼る。
はみ出したのりは、水でぬらした布でふき取る。
- ③リボンをつけて出来上がり。



はがきに貼っても使えるよ。
ラミネートしてもいいね。



～ はんが と こすり出し ～

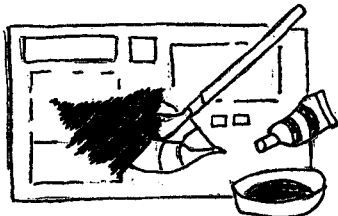
★葉の中の葉脈の筋を使って、はんがやこすり出しをしよう。

☆用意するもの

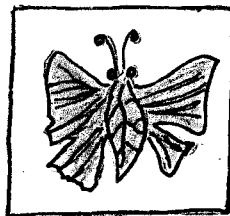
葉 新聞紙 絵の具 バレン 薄い紙 版画紙 クレヨン 色鉛筆

☆はんが

- ①新聞紙の上で葉に絵の具をぬる。

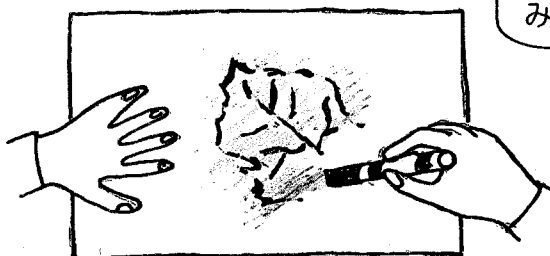


- ②そのまま別の紙の上に移し、その上に版画紙をのせる。
- ③片手でしっかり押さえて、バレンを回すように動かす。



☆こすり出し

- ①平らなところに葉を置き、その上に薄い紙をのせる。
- ②紙をしっかりとおさえて、クレヨンや色鉛筆で葉の形が浮き出るように軽くぬる。



クレヨンや色鉛筆の向きをかえてぬってみよう。



～葉っぱでつくる昆虫～

★ かたくて厚みのある葉をつかおう。

- ・ マテバシイ イチイガシ ツバキ シラカシ
- タイサンボク タラヨウ クヌギ など

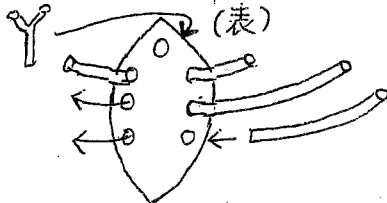
用意するもの

かたくて厚みのある葉 小枝 草のくき 木の実 つる

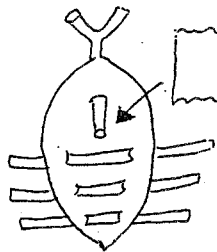
画用紙 (目玉用 丸いシールでもよい) ホチキス 布ガムテープ等

カブトムシ

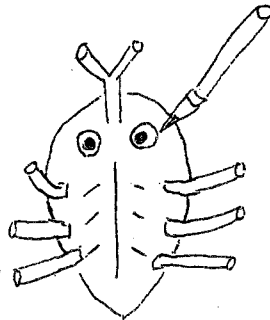
① 葉にようじであなをあけ、
細い小枝をさす。



② 葉の裏側で小枝を
布のガムテープではる。

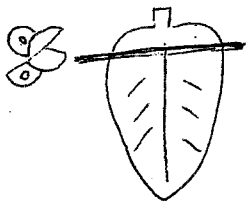


③ 油性ペン目をかく。
もしくは、目玉用
シールをはる。

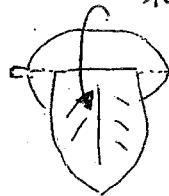


セミ

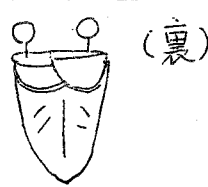
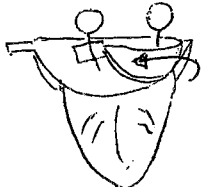
① 葉を少し切る。



② 葉を重ねて折り、
木の実ははる。



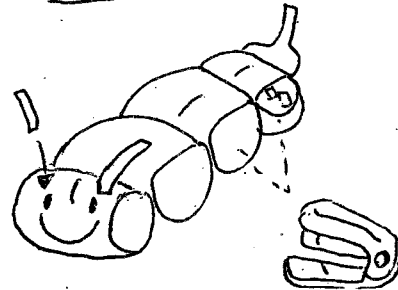
③ 葉をたんで葉の中に差し込む。



④ 葉の木エボンドではる。

イモムシ

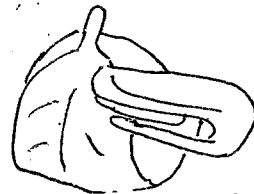
① 葉を丸め、輪にしてホチキスでとめる。



② 輪をホチキスでとめてつなげる。顔を
かく。

カエル

① 葉を丸め、輪にしてホチキスでとめる。



② 葉をガムテープで
張り合わせる。



③ 顔を油性ペンでかく。
目玉シールをはる。



④ 小石を輪の中に置くと、安定して立つ。



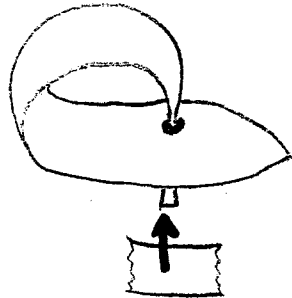
葉っぱのおしゃれ

- 葉っぱのレイ
- ペンダント・ぼうし
- ネクタイ

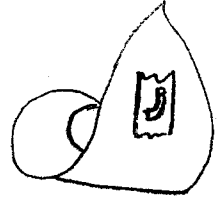
葉っぱのレイ



① 葉にあなをあけ、差しこむ。



② セロハンテープでとめる。



ひもを短くして、うで輪に。



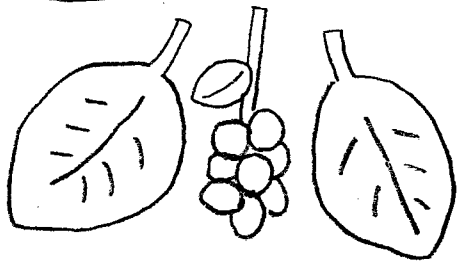
③ 葉の輪にひもをとおして、しばり、首がざりに。



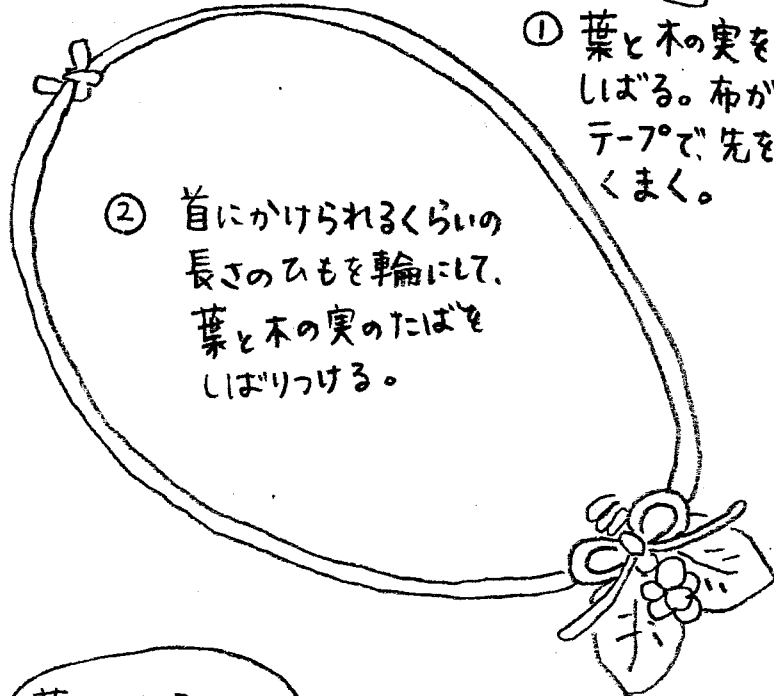
ひもの長さを豆頁に合わせて、かんむりに。



葉っぱのペンダント



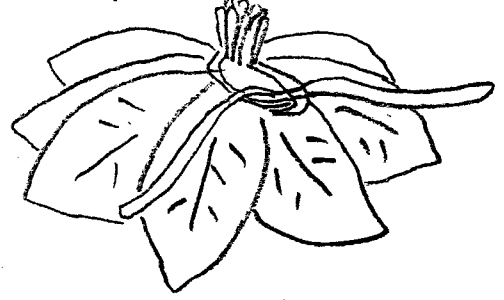
① 葉と木の実をき×
しぼる。布ガム
テープで先をきつ
くまく。



② 首にかけられるくらいの
長さのひもを輪にして、
葉と木の実のたばを
しばりつける。

ぼうし

葉をたばにして、しばる

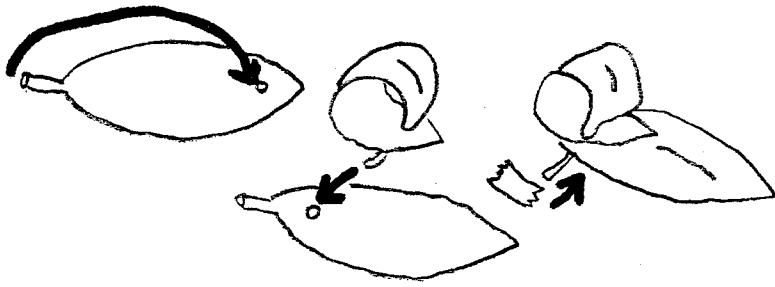


頭にのせてね!!

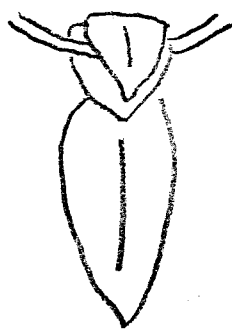


葉っぱのネクタイ

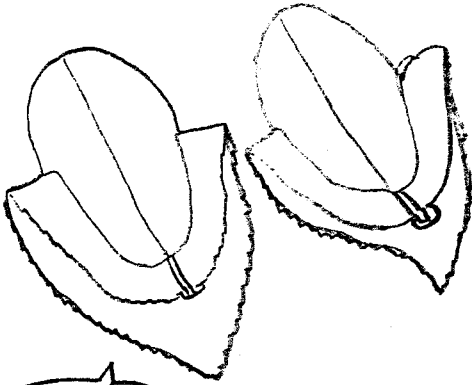
マテバシイの葉で"



① 葉にあなをあけ、 ② もう1枚
差しこむ。

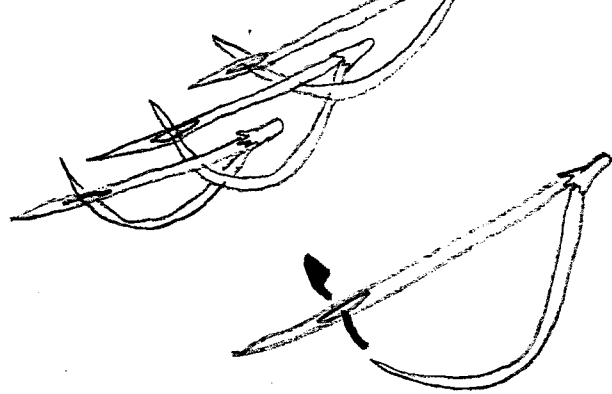


お面・ぞうり・マツバ・マツカサ・エノコログサ のおしゃれ

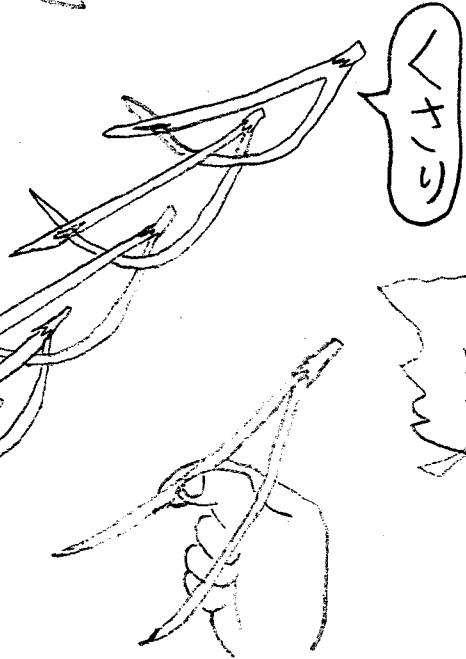


ぞうり

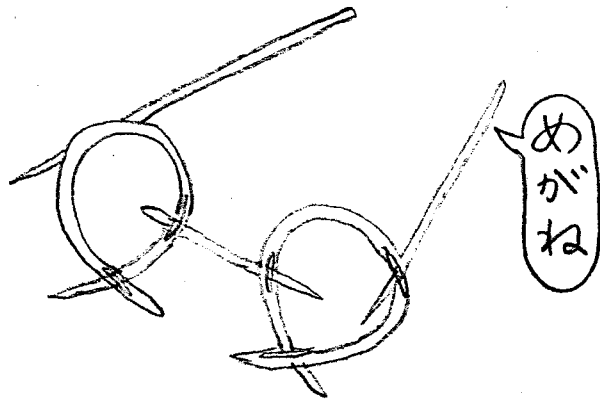
・半分だえんに切り、
先に穴をあけて、
さしこむ。



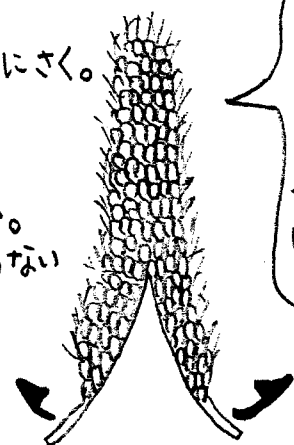
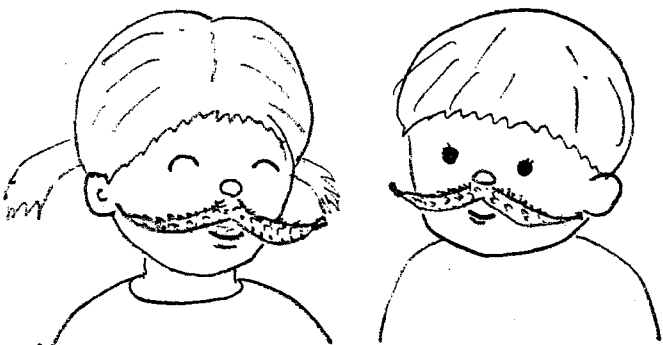
★めがねも、
おなじやりかたで
つくれます。



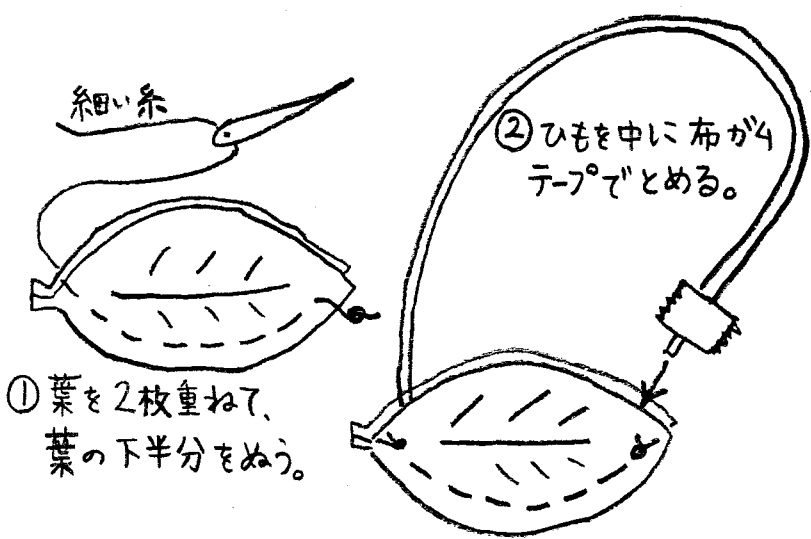
① つめて、さけめを入れる。
さけめに、もういっぽうを
さしこむ。



★ほを、ねもとから2つにさく。
ほの さきのほうを
すしだけにして、
はなの下にはさむ。
口をとがらせて、おちない
ようにする。

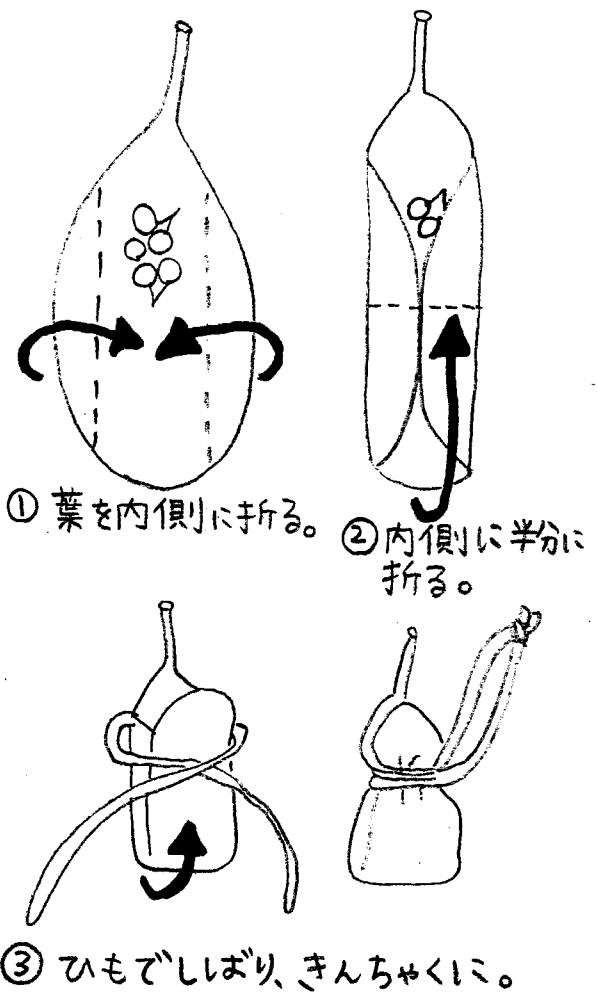


ポーチバック

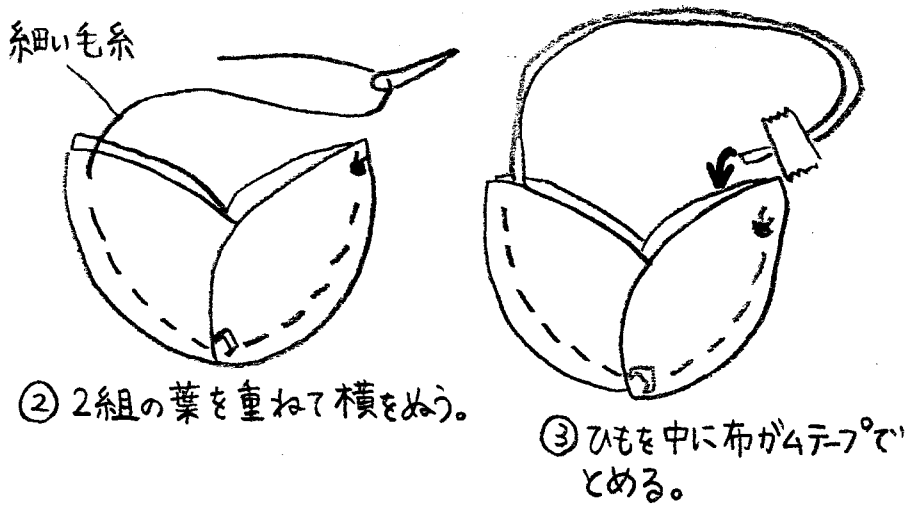


きんちゃく

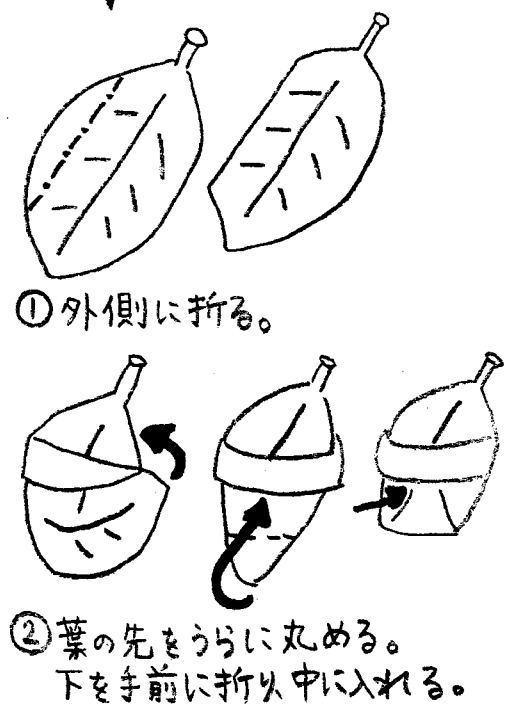
大きなホオノキの葉で



ハートのバッグ 厚みのあるマテバシイの葉で



小さな入れ物 マテバシイの葉、クマザサで

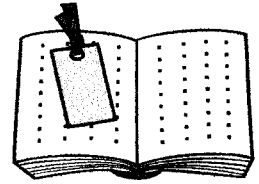


押し花を使ってしおりを作ろう

2016. 7. 29

1. 使用目的

- 思い出として保存する
- 実際に使う
- プレゼントにする



2. 用意するもの

- 身近な花や葉の押し花 ラミネーター専用フィルム リボン
- ラミネーター 画用紙 シールや名前印など 穴開けパンチ
- ピンセット

3. 作り方

- ・フィルムに合わせて画用紙を切る。(少し小さめに)
- ・二枚重ねのフィルムを開け、画用紙を置く
- ・画用紙に押し花を置く
- ・サインやメッセージを書いたり、シールを貼ったりする。
- ・フィルムをかぶせて、ラミネーターに通す。
このとき、必ず糊の付いている方から通す。
- ・穴開けパンチで穴をあける。
- ・リボンをつける。

4. 花や葉の乾燥の仕方

- ・乾燥シートを使う場合
乾燥シートの上にティッシュペーパーや半紙にはさんだ花や葉を交互に重ねていく。
重し(百科事典3~4冊)をする。
1~2週間で乾燥する。
保存は、乾燥シートを一枚入れた密閉袋に入れる。
*乾燥シートは、電子レンジで1分乾燥、何回でも使える。
(東急ハンズで10枚1800円くらい)
*花や葉は、薄い方がよい
(ラミネーターに通すので、きれいに仕上げるため)
- ・ダンボールの場合
ダンボールと花をはさんだ紙を交互にし、動かないようにゴムで止めたり、洗濯バサミで止めたり、本で重しをしたりして、風通しのよいところに置く。
*ともに、間にスポンジをはさんでいくときれいに仕上がる。

5. その他

- ・乾燥した花は壊れやすいので、必ずピンセットを使う。
- ・ラミネーター専用フィルムやピッチンなどをかぶせるときは、静電気が発生するので、手を添えて作業するとよい。
- ・押し花は湿気と紫外線により、変色しやすいので気を付ける。